A glowing lightbulb with a circuit board overlay. The lightbulb is the central focus, emitting a warm, golden light. The background is a soft, blue-grey gradient. Overlaid on the lightbulb and extending across the frame are faint, white circuit board traces. The text is centered within a dark, semi-transparent rectangular box.

省エネ相談地域プラットフォーム 事業について

山梨県商工会連合会

本会は省エネ相談地域プラットフォームとして活動しています。

省エネ推進の背景について



- 菅総理大臣の所信表明にて「我が国は、二〇五〇年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」と発言。



- 省エネルギーを徹底し、再生可能エネルギーを最大限導入するとともに、（中略）長年続けてきた石炭火力発電に対する政策を**抜本的に転換**します。

省エネプラットフォームとは

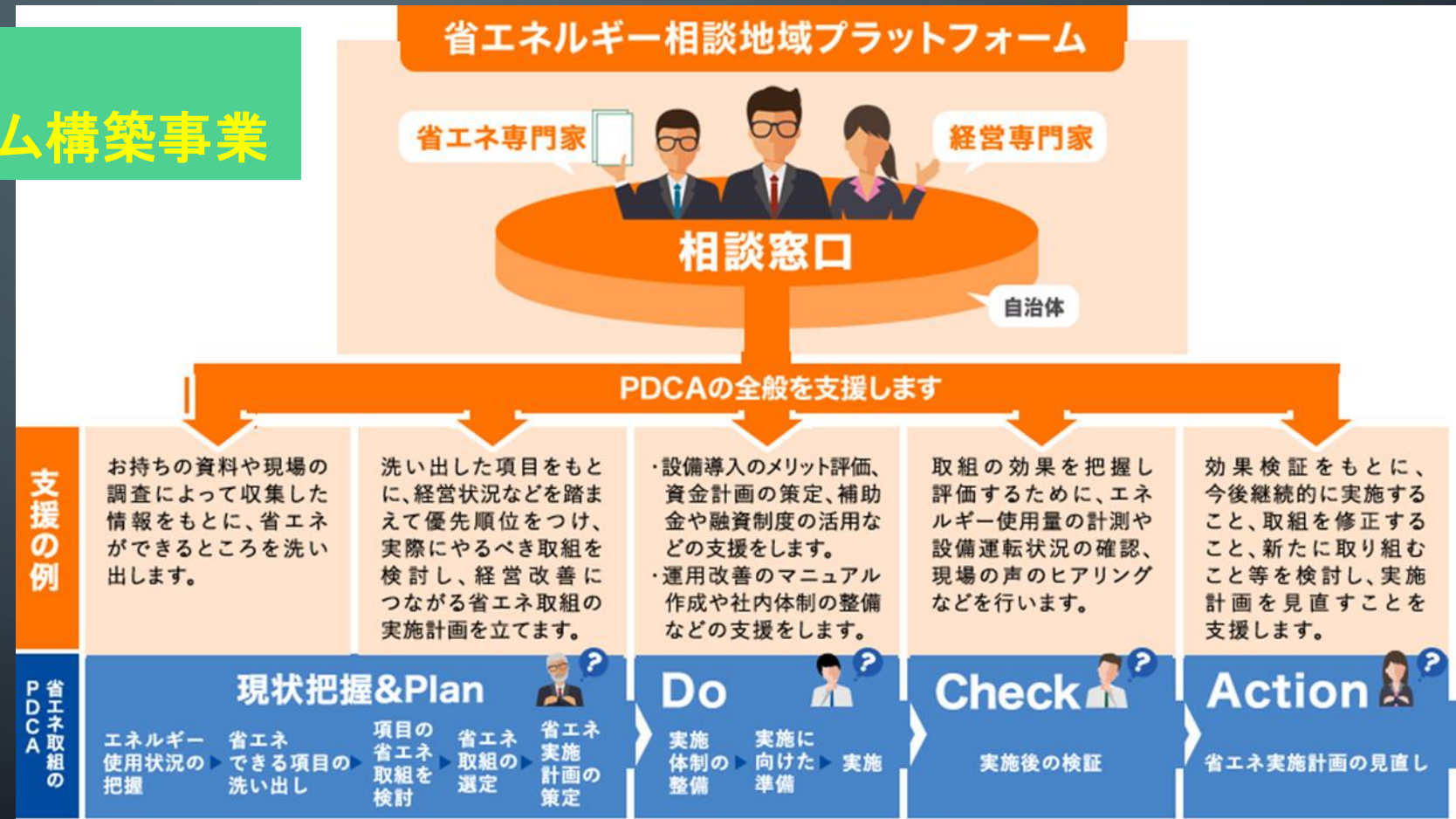
省エネルギー 相談地域プラットフォーム構築事業

中小企業等の、省エネルギーに係る取組を支援・推進することを目的とし、経済産業省が実施している事業です。

現在は、全国46都道府県に、54の地域PFが活動しています。

全国省エネ推進ネットワークHP
https://www.shoene-portal.jp/about_pf/

山梨では商工会が受託
全国唯一



山梨県の省エネプラットフォームのご紹介

ー省エネ支援体制 省エネプラットフォームとしての商工会ー

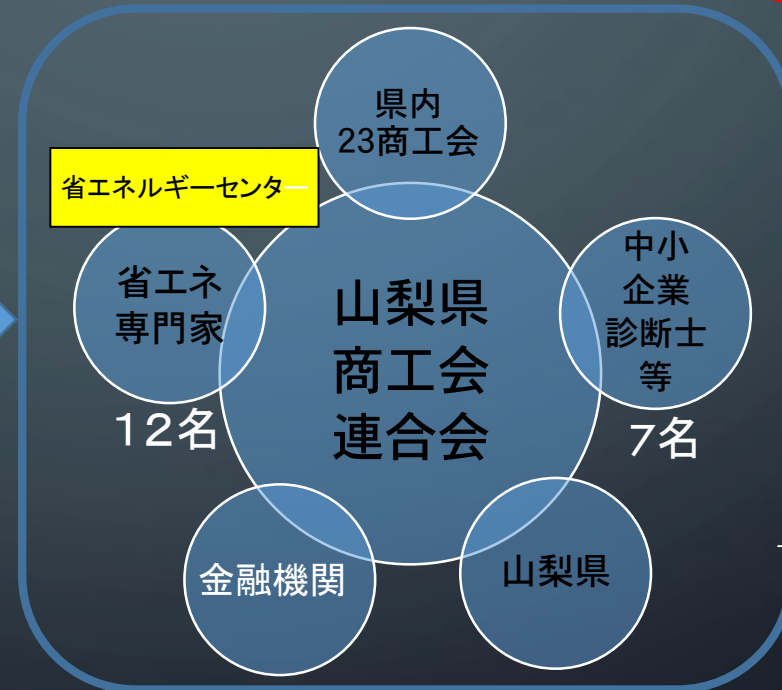
省エネについて
気軽に
相談したい

専門家に実践的で
効果の上がるアドバ
イスを受けたい



中小企業・個人事業主

山梨県省エネルギー相談
地域プラットフォーム



地域の企業の
「すぐそば」
にある窓口

経済産業省

●地域の商工業者支援の一環として、経営支援活動に加え、省エネに関する指導や提案を行なっています。

省エネ推進の方法をつかむ

省エネにおけるエネルギーとは

- ✓ 燃料 原油、重油、ガソリン、天然ガス、石炭等
- ✓ 熱 上記を熱源とする蒸気・温水・冷水等
- ✓ 電気 上記燃料を起源とする電気

省エネ推進方法

- トサカで考える



トサカとは

- トメル 止める
- サゲル 下げる
- カエル 替える

省エネPF支援の基本的な流れ

① 現状把握



- ・ 課題の抽出
- ・ エネルギーの見える化

② 提案

- ・ 運用改善・設備改善・生産性向上



③ 省エネルギー実施計画の立案



省エネ
診断



① 現状把握

■ 省エネ推進への課題の把握

事業所の抱えている省エネに関する課題をヒアリング
併せて経営課題も確認する。

- ・ 1位 ○○を更新したいけど補助金ある？ 補助金情報
- ・ 2位 光熱費が上がったんだけど対策ある？ 改善提案
- ・ 3位 効果があるって聞いたけどどうなの？ 専門的情報

① 現状把握 II

■ エネルギー使用状況把握

・どのエネルギー（種類）をどれだけ（量）使用しているか？

① 電気

② ガス、重油

③ 水道等

⇒ 1～2年間（月別）の利用明細から確認

時間ごと（30分間隔）のエネルギー使用推移があると◎

① 現状把握 III

- ・どんな機器（種類、台数、定格）があり
どれだけ（稼働）使っているか？

①生産機械 （生産に必要な機械）

②ユーティリティ機械 （照明、空調、PCなど）

- ・業務フローの確認

仕事発生から仕事完了まで（受注から発送まで）

② 改善提案 ～ 推進計画

■ 改善提案

運用改善 (費用をかけない、使い方の改善)

トメル、サゲル

設備改善 (費用をかける、機器の改善)

(機器を)カエル

生産性向上 (生産方法の改善、外注、一本化、簡略化)

(方法を)カエル



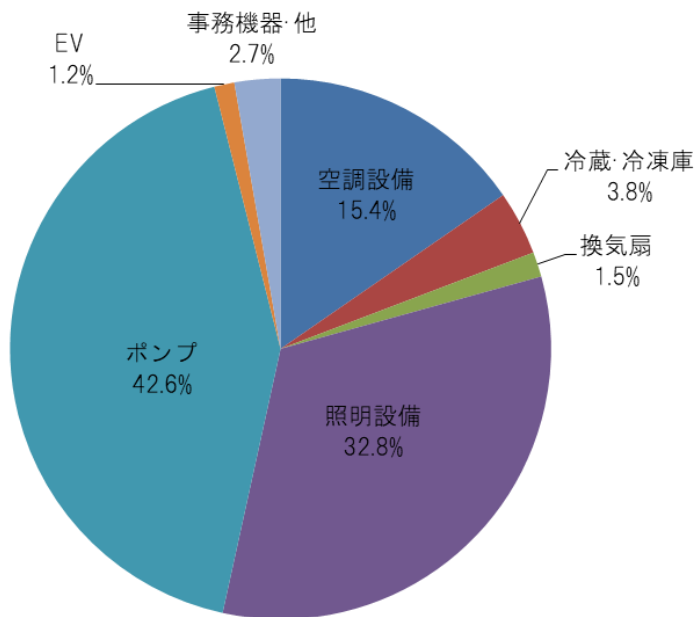
■ 省エネ推進の方針の決定支援

事業所のニーズと改善提案を実施に至るよう支援

潜在的な課題も加味しつつ、無理のない実現性の高い提案

まず、次の第1歩を決定する。

診断データの見える化



イ 機器別電力使用状況

- ・使用機器リストを作成(型番、定格電力、稼働時間)
- ・今後の機器更新の計画に役立つ。
- ・どの機器の改善提案を行うかの判断に使用
- ・生産機械(変動)とユーティリティ機械(固定)の割合

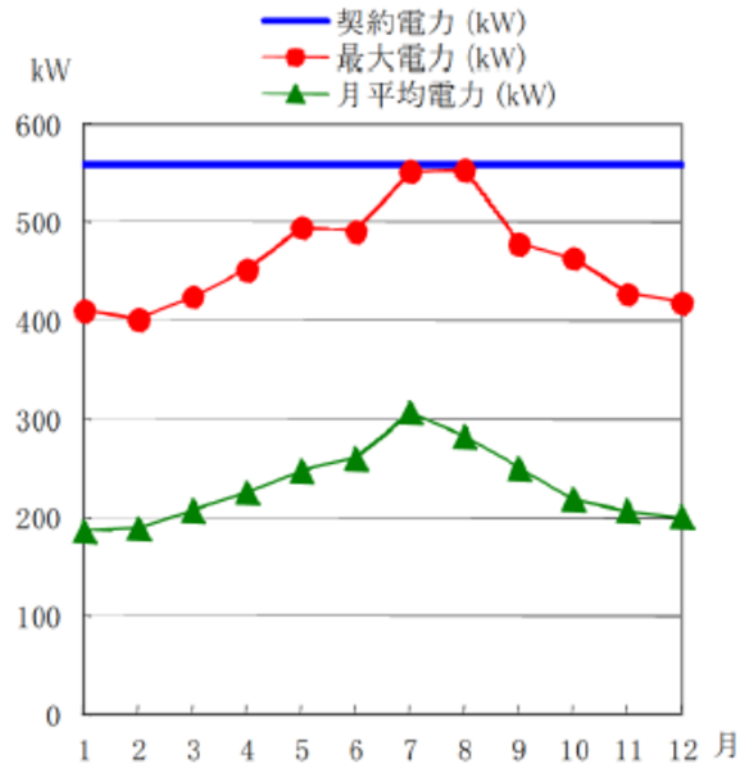
(例)

左のグラフで100万円/年の電気料金(使用量分)としてLED更新で40%の削減が可能とすると・・・

照明の割合から、32.8万円のうち40%削減となり年間13.12万円の削減。

投資と見合うかどうかの判断がしやすい。

診断データの見える化



□ 月別電力使用状況

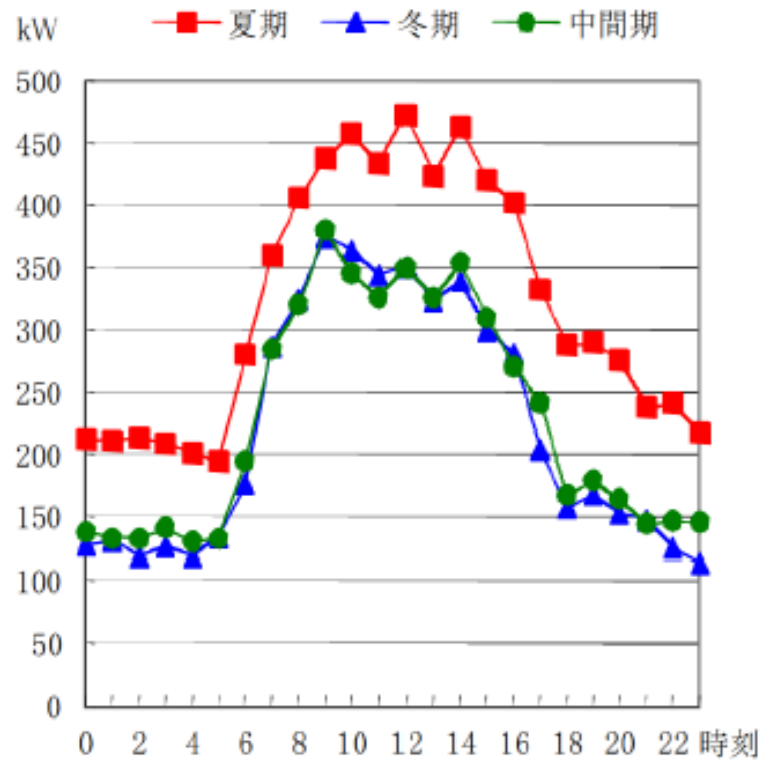
- ・利用明細でグラフ化できます。
- ・どの月で最大需要電力を記録しているか？
- ・どの月が一番使用しているか？
- ・グラフの波形は？(夏冬型、変動型、一定型)
- ・業務負荷(繁忙期)と照らし合わせて判断する。

(例)

左のグラフでは夏が最大電力かつ最大使用量
夏の使用方法に省エネ余地がありそう。

業務負荷が一定であるならば、山と谷の差が空調使用量

診断データの見える化



ハ 時刻別電力使用状況

- ・本来止まっている状況での使用＝固定使用分
- ・山の頂上＝ピーク使用分
- ・上昇分＝機器の稼働推移
- ・利用状況を踏まえ妥当かどうか
- ・30分ごとの電力使用状況は東京電力でもらえます。

(例)

本来使用していない時間に使用量上昇
→調査すると機器スイッチの切り忘れ発覚
管理体制を見直し、切り忘れがなくなる。

最大需要電力を記録している箇所がピンポイントなので
具体的対策が立てやすい。

まとめ

省エネは国際的な背景や国の方針により急速に進められてきたことから
一般レベルでの認知度が低い
「これからの時代はエコ」「導入すれば得する」という売り文句が先行し
悪意のある業者が群がり、敬遠されるようになっている
そのため、公的な相談窓口は有益

省エネ意識はあるものの、何をしたいかわからない？といった現状。
手つかずの事業所も多い。 **(普及啓発)**

全世界で取り組んでおり、トレンドの移り変わりが早く、新技術もどんどん確立
している。 **(情報収集)**

地道な活動(把握してト・サ・カ)こそ王道 **(継続実施)**